

三十八

丙
三四
伍
六

立案 昭和四年五月六日
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長



宗秩寮總裁



宮内事務官



故北川與平位記追賜ノ件

昭和四年五月廿七日裁可
五月廿七日達
五月廿七日官報報告濟
任
臺帳記入
五月廿七日

宮内省

宮内省

昭和四年五月十七日
宗廟奉養所
宗廟奉養所
宗廟奉養所

故北川與平位記追賜ノ件

宗廟奉養所

宮内省

昭和四年五月十七日
立案

宗廟奉養所

昭和四年五月十七日



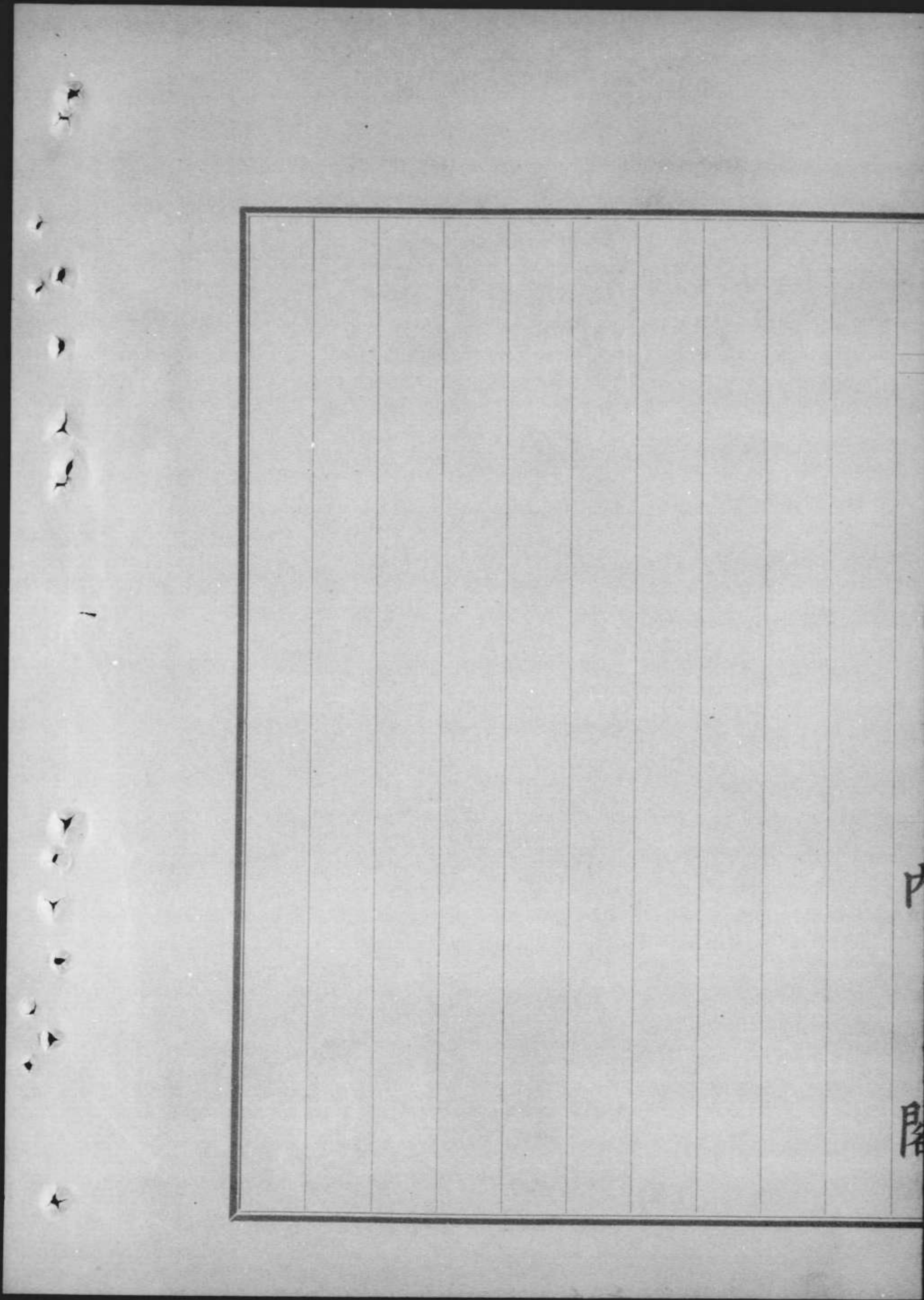
故北川與平位記追賜ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和四年五月十七日

内閣總理大臣男爵田中義一





内

際

高任 第四七號

案 起
昭和四年五月十七日

裁可
昭和四年五月十七日

施行
年月日

内閣總理大臣 石

内閣書記官長

久

内閣書記官長 印

故北川與平ハ別紙商工大臣稟請ノ
通功績顯著ナル者ニ候處本月十日
死去ノ趣ニ付特旨ヲ以テ左ノ通位記
追賜ノ件上奏相成然ルヘシ

内閣

特旨ヲ以テ位記ヲ追賜

故北川與平

北川與平

叙從六位

五月十日付

商褒第一三七號

滋賀縣犬上郡高宮町

故 北川 與平

安政二年三月十日生

昭和四年五月十日死

右者資性温厚夙ニ實業ニ精勵シ棉花ノ輸入並紡績事業及綿糸布ノ輸出業ニ力ヲ致シ或ハ朝鮮ニ炭田ヲ開發シ其他幾多會社ヲ設立經營シ我邦産業ノ興隆奈達ニ貢獻スル所多大ナルモノニ候處病氣ノ爲本月十日死亡致候ニ付テハ生前ノ功績ヲ録セラレ特ニ生前ノ日附ヲ以テ相當位階追賜、御詮議相成度知事具申書相添此段稟請候也

商 工 省

昭和四年五月十七日

商工大臣中橋徳五郎



内閣總理大臣男爵甲中義一殿

(小川稿)

祕第二一五號

昭和四年五月十四日

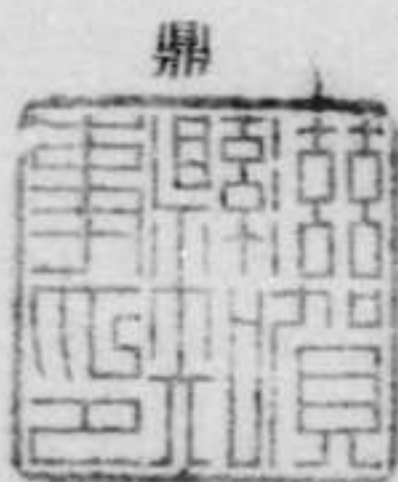
滋賀縣知事 堀田

商工大臣 中橋 徳五郎 殿

實業功勞者行賞方 内申

滋賀縣犬上郡高宮町九十八番屋敷

北川 與平
安政二年三月十日生



滋賀縣

右者別紙事績調書ノ通多年實業ニ勵精シ公益ヲ興シ斯界ノ興隆ヲ致シタル等其ノ功績洵ニ至大ナルモノト相認メ候然ルニ過般來病氣療養中ノ處本月十日死亡致候ニ付テハ特別ノ御詮議ヲ以テ生前ノ功勞ニ對シ被位ノ恩命ニ浴スル様致度此段内申候也

裏面白紙

事績調書

氏名	北川 與平	生年	安政二年三月十日	年	七十五歲
住所	滋賀縣犬上郡高宮町九十八番屋敷				
本籍	住所ニ同シ				
出生地	住所地				
職業	會社員	爵位勳章	無	族籍	平民
死亡當時關與セル事業ノ職名	朝鮮無煙炭礦株式會社長				

經歷

一、學歷

幼時村塾ニ就キ普通學ヲ修ム

一、業績

一、明治二十二年四月本籍地ニ於テ村會議員ニ當選爾來滿期當選六回其ノ他種々公

滋賀縣

職ニ從事セリ

一、數多ノ商工業會社ヲ創立シ就中紡績事業及綿糸棉花ノ輸出入業ニ最力ヲ盡シタルヲ以テ綿業界ノ重鎮トシテ世ニ知ラル而シテ事業成立ノ後ハ其ノ經營ヲ後進ニ譲リ關係者トシテ其ノ名義ヲ存スルモノモ亦尠カラス會社重役トシテ關係ヲ有セシモノ樺太工業株式會社其ノ他別紙履歷書ノ通

一、明治初年伊勢名古屋地方ニ吳服類ノ行商ヲ爲シツ傍ラ北海道ニ商業ヲ擴張セムト欲シ小樽ヲ本據トシ船舶ヲ購ヒ目的ノ遂行ヲ期シ逐次發展ノ域ニ達シタリ然ルニ明治十五年ニ至リ北海道ハ商業不振大恐慌ヲ來シ且小樽區ニ大火災アリテ商人ノ倒産スルモノ頻出シ剩ヘ所有ノ船舶難破スルノ不幸ニ遭遇シ俄ニ大損害ヲ蒙リ已ムコトヲ得ス明治十八年遂ニ意ヲ決シテ業ヲ廢スルニ至ル爾來私カニ時勢ヲ考察シ橫濱ニ出テ洋糸、織物ノ輸入ヲ目的トスル仲立業ヲ開始ス當時外商ハ猶治外法權ノ餘威ヲ藉リ專恣傲慢ノコト多ク商取引ニ於テ特ニ著シク商人ノ不利益少カラス之ヲ憤鬱矯正セムト欲シ苦心スト雖外人ノ壓迫峻烈ニシテ常ニ輕侮ノ念ト猜疑ノ眼ヲ以テ之ヲ遇ス是レ一ハ我商人ノ實力信用ノ薄弱ナルニ基因スルモノナリト思惟シ益確實信用ヲ旨トシテ營業ヲ繼續シ遂ニ

外人ノ信用ヲ得テ漸次隆盛發展スルニ至ル

明治廿八九年頃各地ニ紡績業ノ創設セララルニ當リ今ニシテ之カ原料ヲ輸入スルノ業ヲ始ムルハ時代ニ適應スルノミナラス事業ノ中心ハ大阪ニ在リテ原料輸入ノ事業ハ神戸市ニ於テ爲ササルヘカラストシ横濱ノ本店ハ店員ヲシテ處理セシメ明治三十一年自ラ出テテ神戸ニ棉花輸入業ヲ開始ス而シテ事業ノ前途ヲ觀察スルニ原料棉花ノ如キ外人ノ手ヲ離レ直輸入ヲ爲スニアラサレハ帝國ノ利益少ナキ而已ナラス工業ノ發展望ムヘカラサルモノト確信シ名古屋市奥田正吉カ一外人ト共同シテ此ノ直輸入業ヲ經營シツツアリシヲ譲リ受ケ茲ニ棉花直輸入業ヲ開始セリ

直輸入開始後大阪市ニ其ノ支店ヲ設ケ奮勵中岡山縣下味野ニ於ケル味野紡績所ノ事業不振經營困難ニ陥リタルヲ譲リ受ケ幾多ノ障礙ヲ排除シ奮勵勤勉ノ結果事業發展シ土地ノ繁榮ヲ見ルニ至レリ

明治三十七八年日露戰役ノ結果商店ノ取引狀態益擴大セルヲ以テ獨力經營ヲ廢シ北川商店ノ事業全部ヲ合資組織ニ改メ江商合資會社ト稱シ本店ヲ大阪市ニ置

滋賀縣

キ自ラ無限責任代表社員ト爲リ全力ヲ傾注シテ經營ノ任ニ當リ屢次米國及印度等ニ社員ヲ派遣シ專ラ直輸入ノ途ヲ講シ併セテ世界ノ商勢ヲ調査シ明治四十一年印度孟買市ニ出張店ヲ開設シ又翌四十二年六月米國テキサス州オースチン市ニ於テ棉花商クロオード氏ノ老舗ヲ買收シテ株式會社「クロオード、ゴーシヨウ」ヲ組織シ本邦ニ棉花ヲ輸入スル傍歐洲ニ向テ棉花ノ輸出ヲ試ミタルニ成績良好ニシテ頗ル有望ノ實ヲ舉ケタリ大正二年十月支那青島ニ出張店ヲ設ケ天津ニ代理店ヲ置キ或ハ孟買出張店ニ店員ヲ増派シテ同國「カルカツタ」市巨商ラリ社ト特約ヲ結ヒ更ニ進ンテ大正五年九月米國テキサス州フオード、ウオース市ニ本社直營ノ出張店ヲ設ケ其ノ他上海、漢口、香港及印度南洋等樞要ノ地ニ支店出張店ヲ設ケ着々事業ノ發展ヲ見タリ

此ノ間ニ於テ明治四十年附帶事業トシテ莫大小部ヲ特設シ專ラ輸出ヲ唯一ノ目的トシテ英領印度其ノ他海外各國ニ社員ヲ特派シ其ノ實況ノ調査ト販路ノ擴張ニ當ラシメ大正元年浦江ニ工場ヲ設ケ翌二年奈良市ニ分工場ヲ設置シ益統一シタル優良品ヲ製出シ大ニ製品ノ信用ヲ博スルニ至レリ

一、賞罰

別紙履歷書ニ記載スルモノノ外寄附金ノ重ナルモノ

一、恩賜記念育英資金五千圓

一、氏神高宮神社基本財産金五千圓

一、多賀神社御造營資金壹萬圓（内半額納金済）

一、忠勇顯彰會金貳千圓

其ノ他金壹千圓以下ノ分ハ之ヲ省略ス

滋
賀
縣

履 歴 書

現住所 滋賀縣犬上郡高宮町九十八番屋敷
本籍 現住所ニ同シ

北川 與平
安政二年三月十日生

官 公 職 等

- 一 明治二十二年四月犬上郡高宮村村會議員當選
- 一 同 三十八年二月同上補選當選
- 一 同 四十二年四月彦根稅務署管内所得稅調查委員當選
- 一 同 四十三年四月高宮村村會議員當選
- 一 大正二年四月高宮町町會議員當選
- 一 同 六年四月同上再選
- 一 同 六年十一月滋賀縣恩賜記念育英資金貸付生證衡委員ニ就職
- 一 同 十年四月高宮町町會議員三選
- 一 同 七年十月高宮町學務委員當選

滋 賀 縣

- 一 同 十一年二月高宮町長當選就職
- 一 同 十一年八月高宮信用組合長當選昭和二年七月辭任
- 一 數多ノ商工業會社ヲ創立シ事業成立ノ後其ノ經營ヲ後進ニ譲リ來
リシカ其ノ重役トシテ關係ヲ有ヤシ會社左ノ如シ
- 榊太工業株式會社 中華企業株式會社
- 朝鮮無煙炭礦株式會社 中ノ崎製紙株式會社
- 第一火災海上保險株式會社 日本絹織株式會社
- 日本染工株式會社 日本ビロード株式會社
- 旭絹織株式會社 日本莫大小株式會社
- 大阪モスリン紡績株式會社 江商株式會社
- 大阪三品取引所 大阪ホテル
- 名古屋ホテル
- 一 大正五年四月神武天皇二千五百年祭 御親祭ノ節奈良縣下實業功
勞者トシテ奈良行在所へ御召ノ御沙汰ヲ蒙ル
- 一 大正六年十一月特別大演習ノ際滋賀縣下實業功勞者トシテ大本營

ニ御召ノ御沙汰ヲ蒙ル

賞 謝

一大正五年十一月高宮町役場及公會堂新築費トシテ金壹千八拾四圓
寄附ニ依リ銀杯一個下賜

一同九年十一月恩賜財團濟生會へ金貳千圓寄附ニ依リ褒狀下賜
一同十四年十月紺綬褒章下賜

日本帝國褒章之記

滋賀縣犬上郡高宮町

北 川 與 平

大正十三年三月彦根高等商業學校會金壹萬圓寄附ス依テ大正七年九
月十九日勅定ノ紺綬褒章ヲ賜ヒ以テ之ヲ表彰セラル

大正十四年十月二十四日

賞勳局總裁從三位勳二等 宇 佐 美 勝 夫

此證ヲ勅查シ第八百八十八號ヲ以テ褒章簿冊ニ登記ス

滋 賀 縣

賞勳局書記官正五位勳四等

郡 山 智

賞勳局書記官從六位

伊 手 衡

一昭和二年十一月勳版一個下賜

日本帝國褒章之記

滋賀縣犬上郡高宮町

北 川 與 平

大正十五年三月滋賀縣犬上郡高宮町社會事業基金トシテ金壹萬圓寄
附ス依テ褒章條例第三條第一項ニ據リ曾テ授與ヤシ紺綬褒章ニ附ス
ヘキ勳版一個ヲ賜ヒ以テ之ヲ表彰セラル

昭和二年十一月十九日

賞勳局總裁從四位勳二等 天 岡 直 嘉

此證ヲ勅查シ第四百五十五號ヲ以テ褒章簿冊ニ登記ス

賞勳局書記官正五位勳四等 郡 山 智

賞勳局書記官正六位 伊 手 衡

一昭和二年三月高宮町功勞者トシテ表彰セラル

表彰状

北川 與平 殿

曩ニ本町名譽職ニ從事ヤラレシコト多年夙ニ實業ニ志シ勤勉勤精今
復吾國綿業界ノ重鎮トシテ知ラル洵ニ郷黨ノ模範トスルニ足ル常ニ
公益ヲ謀リ後進ヲ誘掖指導シ殊ニ本町社會事業ノ爲最モ力ヲ效サル
其ノ功績著大ナルヲ以テ茲ニ町會ノ議決ヲ經テ床置物一個ヲ贈呈シ
其ノ功勞ヲ表彰ス

昭和二年三月二十七日

高宮町長 中村 吉次 郎

一 關東地方大震災ノ際金貳千圓寄附シタル廉ヲ以テ昭和三年十一月
二 日附ヲ以テ表彰ヤラル
一 刑罰ヲ受ケタルコト無シ

以上

滋賀縣

立案 昭和四年五月十七日
決裁 昭和四年五月十七日

官房宿



官登高等官
武官

案

故北川與平

特旨ヲ以テ位記ヲ追賜セラルル昭和四年五月十七日

北川與平

叙從六位

昭和四年五月十日

宮内省

右之通本日 宣下相成候條此旨及傳達候位記並
辭令ハ追テ可及回送候也

昭和四年五月十七日

宗秩寮總裁

商工大臣

MM

めくれず



丙
三
四
五
六

一
故
北
川
與
平

右位記竝辭令及回送候條交付方御取計有之度候也

昭和四年五月十八日

宗秩寮總裁子爵仙石政敬

商工大臣

宮内省

裏面白紙